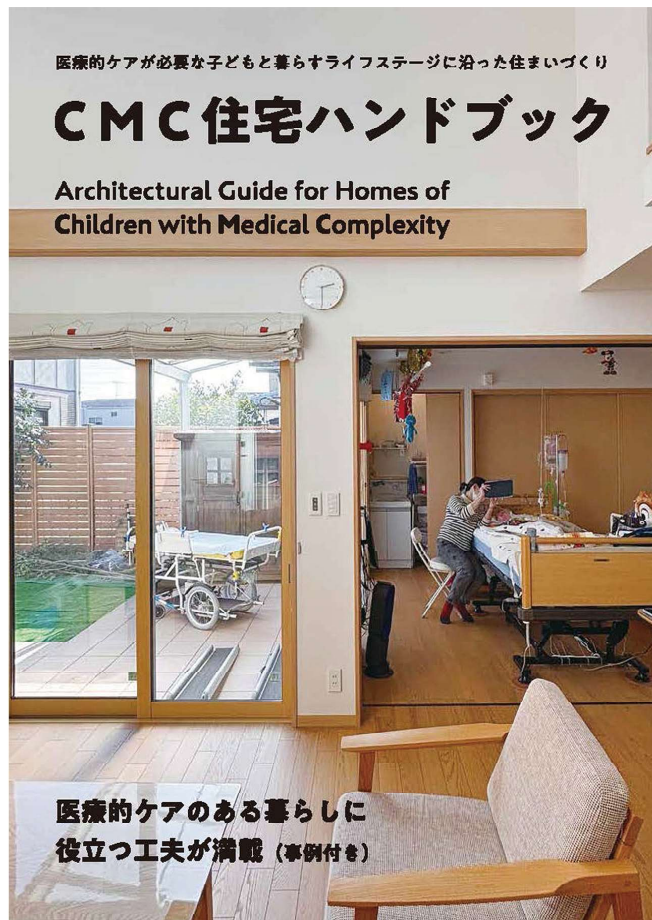


研究開発・臨床評価等



【医療的ケア児を対象とした住宅調査:CMC住宅ハンドブックの作成】

医療的ケア児の家族180名を対象に住生活のストレス調査を実施し、外出介助や物品収納に関する課題が明らかになりました。さらに、全国14家庭を訪問し、住宅改造や福祉用具の活用が生活の質の向上に寄与する一方で、収納の困難さが課題として浮上しました。調査結果を基に好事例を整理し、玄関・浴室・居室の設計ポイントを提案する冊子を作成しました。令和5年度(一財)住総研の研究助成金を活用して実施。東京大学松田研究室、SMA家族の会



【風を感じるおもちゃの試作】

肢体不自由のあるお子さんがスイッチ入力によって、風を感じることができるとおもちゃを試作しました。携帯扇風機を改造し、マイコン制御によって扇風機の電源のオンオフの切替や、光・音楽も流れる機能があります。



【ニーズ&アイデアフォーラム】

医療・福祉系、デザイン系、工学系の異なる学校の学生が混成チームを作り、障害のある人のニーズを探りながら支援機器のアイデアを考え、形にする事業の協力をしています。国立障害者リハビリテーションセンター



【インクルーシブ遊具の開発】

最大4人が乗ることができるユニークな乗り物遊具の共同開発をおこないました。1つの座席を広めのシートに変更し、ハンドルも持ちやすい形状に変更しました。多くの子どもが楽しめる遊具になりました。(株)トッケン



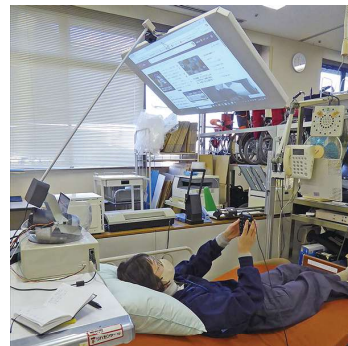
【介護ロボット相談窓口】

令和6年度神奈川県介護生産性向上推進事業を受託し、相談窓口を運営。相談157件(ニーズ79件、シーズ78件)、体験展示会場来場者614名、伴走支援8施設、成果報告会等の研修会を開催しました。神奈川県高齢福祉課



【特別支援学校での展示会実施】

福祉機器や住環境整備の普及および啓発を目的に、横浜市内の特別支援学校を対象に福祉機器の展示会を開催しています。2011年度から実施し、今年度は4校(中村、上菅田、瀬谷、あおば)実施しました。



【ニーズ・シーズマッチング強化事業】

「意見交換・アドバイス支援」について協力しました。機器は『寝ながらパソコン楽々モニター(松崎技術士事務所)』で、実機を試用しながら製品の良さ、改良点など意見交換をおこないました。(公財)テクノエイド協会



【横浜市障害福祉テクノロジー事業】

横浜市の障害福祉施設向けに、オンラインによる「障害福祉分野の職場改善推進セミナー」、反町福祉機器支援センターで「テクノロジー体験会」を実施し、新たなテクノロジーの普及・啓発をおこないました。横浜市障害施設サービス課



【テクニカルショウヨコハマ2025】

「テクニカルショウヨコハマ2025」(第46回工業技術見本市)に出展しました。企業との共同開発製品や介護ロボット等を展示し共同開発・臨床評価事業、リハ事業団のPRをおこなってきました。



【簡易型電動車椅子サッカー】

「電動車いすを用いて、人びとの可能性を拡張する取り組み事例」として、簡易型電動車椅子サッカーの開発事例を取り上げていただきました。ヤマハ発動機(株)、SDGsムービーField-Born



【見守りロボットの評価】

専門職3名が見守りロボットのChatGPT「自由会話機能」を試用し、活用可能性や改善点を評価。メーカーアンケートに回答し、結果を基に試用状況や使用感、活用・開発について意見交換しました。合同会社ネコリコ



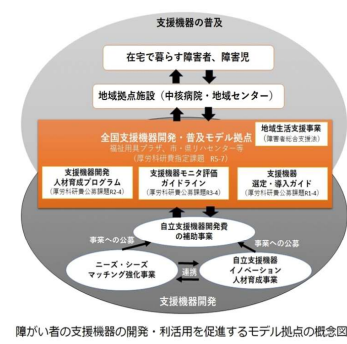
【国際福祉機器展2024】

今年度も国際福祉機器展の子ども広場の運営に協力しました。「子どもの車いすクッションの考え方・選び方」の冊子を作成しました。Webサイトから無料でダウンロードできます。(一財)保健福祉広報協会



【おもちゃ作りプロジェクト】

放課後等デイサービス「わくわくさん日吉の扉」の支援者向けにおもちゃづくりワークショップを実施し、「プレイヤー」「斜面台」等を試作しました。さらに保護者向けにもワークショップの支援を実施。NPO法人扉



障がい者の支援機器の開発・利用を促進するモデル拠点の概念図

【支援機器モデル拠点構築研究】

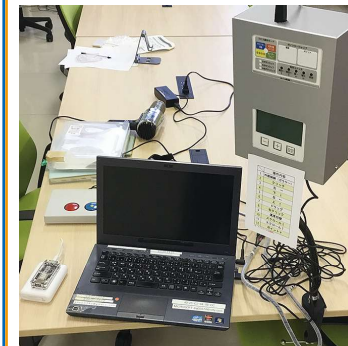
厚生労働行政推進調査事業「支援機器の開発・普及のためのモデル拠点構築に資する研究」の分担研究者として、障害者自立(いきいき)支援機器普及アンテナ事業推進のため、調査研究をおこなっています。



【オープンラボの実施】

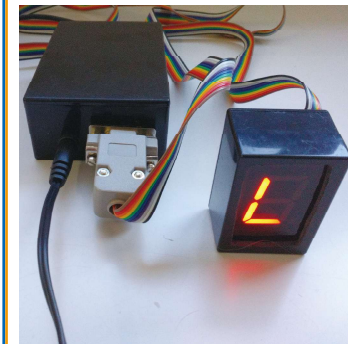
職員連携を目的にオープンラボを開催しました。ワークショップでは強化段ボールを使ったモノづくりにチャレンジ。その他、電動車椅子サッカー、スマートスピーカー、住宅改造事例紹介、おもちゃ相談会を実施しました。

直接的利用者支援



【スイッチ操作の提案】

ウエルドニッヒホフマン症のある方で、市販のスイッチでは操作が難しく、その代わりに「スイッチブースター」と「マルチマウス」のパソコン操作の組合せセットをご紹介し、検討いただくことになりました。



【足によるパソコン操作スイッチ】

パソコンマウスのクリック操作などが難しいというケースに、足のスイッチ1個で、左クリック・右クリック・ドラッグ・コピー・ペースト・エスケープの各種動作ができるようなアダプタを製作しました。



【住宅改造・リフト】

玄関から車椅子ごと外に出るには段差が多いため、リフトを設置することで、屋内用の車椅子から屋外用の車椅子へ移乗することができました。何度もシミュレーションし、リフトの設置位置や仕様を決定しました。



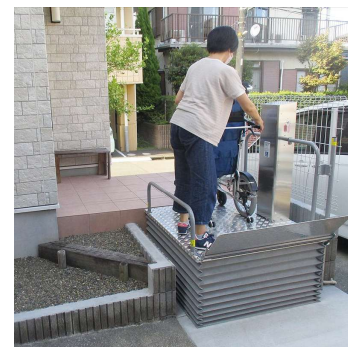
【スイッチ操作環境の改善】

脳性麻痺のある方が左上肢で操作するボタンスイッチと環境制御装置、赤外線信号発光部を一体化し、断線などのトラブルを防ぎ、安定した操作環境を実現しました。さらに使いやすさと耐久性も向上しました。

	X00	X01	X02	X03	X04	X05	X06	X07	X08	X09	X10	X11	X12	X13	X14	X15
Y00	20	23						20	26	23	27					
Y01	22	29	27	24	22	21	28	30	29	28	27					
Y02	21	26	30	31	37	48	39	44	42	44	37	41	35			
Y03	23	28	33	40	41	43	30	54	54	42	43	38	37			
Y04	24	34	41	55	48	40	43	64	51	52	39	30	20			
Y05		23	44	42	32	30	63	90	52	32	35	34	20			
Y06		24	21	29				30	64	50	25	25	21			
Y07	21		22		22			29	27	27	31	27				
Y08			20	20				27	25	22	30	27	23			
Y09								27	27	21	29	25				
Y10								22	29	26	26	26				
Y11									26	33	24	20				
Y12									22	23	24	22				
Y13																
Y14																
Y15																

【在宅リハにおける座圧測定】

車椅子を使用されている方で、臀部に褥瘡がある方の座圧測定を実施し、使用しているクッションが適切かどうかを評価しています。また、ベッド上での圧測定も実施し、車椅子以外の原因も探る場合があります。



【住宅改造・段差解消機】

玄関から車まで抱きかかえて移動していましたが、子どもの成長にともない車椅子で移動できるよう、段差解消機を設置しました。また、フェンス撤去の上、既存の庭に続く階段を利用し、介助者の動線も確保しました。